

2021年度：先端研究推進センター当事者研究分野における研究およびプロジェクトの計画

1. 科研、研究プロジェクトへの参加

- ① 東京大学・基盤研究(B) (特設分野研究) 対人援助とセラピーにおける対話実践の身体性と社会性：対話空間のオラリティ研究 2019年度～2021年度 研究代表 石原孝二 東京大学・大学院総合文化研究科・教授 分担研究員
- ② 2020年度 AMED 障害者対策 (課題管理番号：20dk0307091h0001) 「ICFモデルに準拠し当事者と評価者の共同を重視した強みと弱点の評価尺度開発研究」 2020年4月1日から2023年3月31日 研究代表 福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座 特任教授 丹羽真一 分担研究
- ③ 「東京大学ビジョン2020」に基づく、アクション前倒し事業 研究代表者 東京大学先端科学技術研究センター准教授 熊谷晋一郎 「当事者研究の方法論的研究と臨床研究」 協力研究 2015-2021

○先端研当研分野としての研究計画

① 「当事者研究と実習教育」

看護師養成教育(長野県立看護大・札幌市立大)、ソーシャルワーカー養成教育(北海道医療大)、教員(英語教員)養成教育(広島大)における当事者研究の活用が試みられているが、定式化された教育プログラムとしての検討、その効果の検証は緒に就いたばかりである。そこで、これらの大学間での情報共有と研究計画の立案に向けて会議と実践報告会を行う。

② 医療観察病棟での当事者研究

医療観察病棟において、当事者研究を活用している花巻病院、下総精神医療センターの実践を軸に、来年度、開設を計画している北海道大学病院医療観察病棟開設準備室とも連携を取り、スタッフ教育、効果研究に向けた準備を行う。※今年度、法務省における医療観察法における社会復帰調整官研修に当事者研究が採用され、向谷地が講師を予定(12月)。

③ 協働労働(ワーカーズ)における当事者研究の活用

昨年11月に成立した労働者協同組合法の2年後の施行に向けて、協働労働に当事者研究の導入が計画されている。その実践で先行している北海道内のワーカーズを中心に実践プログラムづくりを計画する。

④ 若者及び家族、子育て当事者研究活動の推進

今年中に、子供向けの当事者研究の書籍を発行予定

⑤ 国際交流

昨年、実施した日韓の当事者研究をテーマにした国際シンポとアジアの精神保健福祉の向上を目指した日韓が連携した国際的な研究プロジェクトを実施する。さらには、韓国における当事者研究の普及を目指した研修プログラムを実施する。

○先端研当研分野のサテライトの開設（計画）

当事者研究の実践現場に「北海道医療大学先端研当事者研究分野サテライトオフィス」を開設し、それぞれの地域課題に対して研究的にアプローチすることを目的に、当事者研究の実践データと資料の収集、実践サポート、各種相談、スーパービジョン、コンサルテーションを実施する。学部の学生の実習教育の場としても活用する。さらに、メンタルヘルスに課題を持つ学生の入学も増える傾向にあり、そのような学生の卒業後の受け皿としても期待できるような場づくりをめざす。サテライトオフィスとしては、次の二か所が考えられる。

①浦河サテライトー社会福祉法人浦河べてるの家（浦河町築地3-5-21）

・当事者研究の発祥の地で、国内外の当事者研究活動及び研究の拠点となっている。

②札幌サテライト NPO法人和気藹々（札幌市北区篠路4条9丁目15-10）

・協同労働による就労支援を目的に生活困窮者、障がい者の就労支援に当事者研究を取り入れ、札幌市内の当事者研究活動の拠点となっている。

○先端研当研分野として特に取り組みたいことー当事者研究ネットワークの構築

以上の事業を推進するために必要な事は、当事者研究のデータ収集、活動状況の把握などのデータベースの構築である。そのための体制づくりが重要である。東大の先端研と連携した日本における当事者研究に関する最高の研究と臨床のセンターとしての土台づくりを図る必要がある。

○今年度の学術大会などの開催及び協力

①日本精神衛生会シンポジウム

10月16日（土）を予定

②心理教育ネットワークの全国大会

2022年3月5日（土）、12日（土）、19日（土）の中から、本部と調整